

オルフオイス III

君の歌はいまもつづく
たえだえに
遠くまでひびくので
木の葉たちもうなだれるやうだ

君は地の果てまで
君は時々涙を流す
帰ることはないであらう
愛するものは

鏡にうつる魔性の踊り
柱のまはりを飛び廻る
白い新聞紙

はじめは風のやうにいさましく
やがてたゆたふかと思はれる
オルフオイスよ 君の心のやうに